場所・面積

東京都千代田区、0.23 ha

管理目的

光の森では、多摩川水系で生育している樹種を植栽することにより生物多様性保全に貢献し、ホタルをはじめとした多様な動植物が生息・生育できる自然環境を提供していく事を目的としている。



サイト概要

東京都千代田区紀尾井町に位置する東京ガーデンテラス紀尾井町。主な植生はカジイチゴとホトトギス。施設内には雑木林の中に水路・ビオトープがあり、都市部では珍しいヤマガラや冬鳥のシロハラがビオトープで水浴びをしている光景が観察できる。

土地利用の変遷

1950年頃は周辺に自然が残っていたが、その後1980年代にかけて急速に都市化が進んだ。
赤坂プリンスホテル(1955年開業)、グランドプリンスホテル赤坂(2007年改称)を経て、再開発を行い2016年に当該地は東京ガーデンテラス紀尾井町(複合市街地)として開業。
東京ガーデンテラス紀尾井町開業に伴い、当該地域の緑量を増やすとともに、光の森を創出することで地域の生きものの生息場等としても地域に貢献する緑地を提供している。

サイト周辺の環境

周辺には清水谷公園や弁慶濠といった水辺があり、その水辺の繋がりでトンボやチョウの生息地となり、都心の貴重な水辺の生態回廊を形成している。また、東京都心や皇居周辺地域にも在来の個体としてヘイケボタルが生息していることが確認されており、それらが生息可能な環境をこのビオトープに創出することにより、この地域に固有の生態系を継承しようと取り組んでいる。東京ガーデンテラス紀尾井町敷地全体の緑化率は約45%を確保し、皇居など都心の貴重な緑地と連携したエコロジカルネットワークの形成に貢献する街づくりを目指している。その中で、特に光の森は皇居などの都心の貴重な緑地をつなぎ、エコロジカル・ネットワーク（生態回廊）の形成に貢献する街づくりを進めている。

アピールポイント

・ホタルの自然繁殖を目指し環境整備をしている。
・麹町中学校理科サークルにヘイケボタルの餌となるカワニナの飼育を依頼し、環境・生物多様性に関心を持ってもらう活動をしている。
・コンポストで作成した堆肥を麹町中学校屋上菜園に使用してもらっている。
・CSR活動の一環として、月に1回入居テナントと共にビオトープの清掃・コンポストの天地返しなどを行っている。
・ナチュラリスティックガーデンにおいて麹町中学校の生徒・テナントの方々とチューリップの球根植栽を行い、緑地の花卉に興味を持ってもらう活動をしている。
・西武塾の取組の一環で小学生へ環境教育を実施している。

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

光の森が多摩川水系での植生を考慮した生物多様性に貢献しているエリアとなる。
健全な地域生態系を保全するために、本来生息生育していない地域から植物や水性生物を持ち込まない事をコンセプトに外来生物の駆除を行う。
また、エコロジカルネットワークの一端を担う場所を目的としている。
当該エリアで集めた落ち葉をコンポストにより堆肥化し、麹町中学校の屋上菜園に提供している。資源循環を学び環境意識の向上を目的とする。
※2021年調査
植物　73科148種（外来植物16種）
鳥類　繁殖期７種　越冬期11種
昆虫類　春季4目13科23種
　　夏季8目14科22種が確認されている。
　　（外来昆虫2種）

【主な植生】

主な植生はカンガレイ、コムラサキなどである。

【確認された主な動植物】

ヤマガラ　シジュウカラ科　繁殖期に2個体確認されている。
ヒメウラナミジャノメ　タテハチョウ科　2021年5月に1個体確認される。



写真の撮影年月：2021年8月
写真の説明：敷地内のビオトープ



写真の撮影年月：2021年11月
写真の説明：敷地内の緑地帯

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

2022年1月に実施した調査において東京都レッドデータブックに記載のある下記の生物が観察された。

【確認された希少種】

東京都絶滅危惧Ⅱ類
シジュウカラ科　ヤマガラ
2022年1月に実施した調査において東京都準絶滅危惧種
以上が観察された。



写真の撮影年月：2022年1月
写真の説明：施設内で確認されたヤマガラ

生物多様性の価値

価値（9）既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場

【場の概況】

マクロ的視点では、東京湾から皇居を経て新宿御苑・代々木公園へと抜ける、風の道の途上に立地している。

樹木や地被類も合わせた緑量で清水谷公園の緑地との連携を図り、弁慶濠まで緑を連続させることで周辺の緑豊かな自然とのつながりを図る。これにより、清水谷公園と弁慶濠等周辺エリアの生き物の生息域が連携し、当該エリアにおいて生物多様性の保全と再生を図っている。



写真の撮影年月：2022年1月
写真の説明：弁慶濠で確認されたオオバン（クイナ科）



写真の撮影年月：2021年8月
写真の説明：清水谷公園で確認されたヤマトタマムシ

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
【管理計画の内容】 **植物** 目標とする水辺や樹林の植物と競合する外来植物を駆除するために、効果的な時期に駆除作業を実施する。 **動物** 目標種としているホタル類やメダカの生育に影響を及ぼす可能性のある動物を駆除するために、駆除作業を実施する。	**【モニタリング対象】** 植物、昆虫類、鳥類、カワニナ、水質 **【モニタリング場所】** 光の森：雑木生態エリア、緩衝エリア ビオトープ：遮光エリア、水路生態エリア、修景エリア **【モニタリング手法】** 植物：同定可能な状態の植物を対象に植物相を把握し、シダ植物、種子植物に分類・整理。 鳥類：ラインセンサス法と定位観測を併用。 全域を任意に歩き回って生息種を確認。 昆虫：現地踏査により補虫網を用いたスウィーピング法および見取り法にて実施。 カワニナ：カワニナをD フレームネットを使用して採集。 **【実施時期及び頻度】** 植物：11月(年1回)、鳥類：1月、5月(年2回)、 昆虫：8月(年1回)、水質および水辺の生き物：1月、8月(年2回) **【 実　施　体　制 】** 事業及び管理主体 （株）西武不動産プロパティマネジメント ホタルのアドバイス：日本ホタルの会 調査・改善提案：景域計画（株） 緑地合管理：西武造園（株）